（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぱんはうすさくら春日部武里教室			
○保護者評価実施期間	2025年　12月　9日	～	2026年　1月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	29	（回答者数）	24
○従業者評価実施期間	2026年　1月　20日	～	2026年　1月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10	（回答者数）	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　2月　20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別課題の充実	保護者の方からの希望に沿った課題にも取り組んでいる。机上の学習だけではなく、バランスボールやトランポリンを用いた体幹トレーニングも行っている。	課題の種類を増やしていく。
2	集団活動の充実	イベントだけではなく、グループワークでの活動を通して、社会性を身に着けられるような機会をほぼ毎日設けている。	グループワークで行う活動のレパートリーを増やしていく。
3	迅速な対応	保護者の方のご要望や児童の病状についての情報共有は、管理者や児発管、担当職員を通して迅速に対応、改善を行っている。	今後も伝達のミスがないように、素早く情報共有が行えるよう対応していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との交流が少ない。	閉鎖的な活動が多く、外部との交流が少ない状況。	遠足や外での活動や保護者参観を今後行っていけるよう検討している。
2	進路相談が難しい。	外部との交流が少ないため、職員や保護者の方に情報が伝わりにくい状況。	就労支援事業所などの成人施設との関りが持てるようになれば、進路相談も安心して取り組んでいけるようになると思う。前向きに検討していく。
3	教室のスペースが狭い。	小学生以上のお子さんが多いので、活動の際は机をどかさなければならない時がある。	窮屈になりすぎないよう外での活動を増やしていく。